

夢育通信

夏休み前号 令和2年7月吉日発行

発行者 宇都宮市立清原北小学校長
青柳文男

「新しい生活様式」のもとで

6月1日より学校が再開し、2か月が過ぎました。3か月にも及ぶ臨時休業を経ての学校再開でしたが、子どもたちは非常に落ち着いた学校生活を送っていました。これもひとえに、臨時休業中に各ご家庭で落ち着いた生活を送ってくださっていたためと推察いたします。本当にありがとうございます。

学校では、マスクの着用や人との距離を保ち、入念な手洗いやうがいをおこなうなどのいわゆる「新しい生活様式」のもとでの生活になりました。子どもたちは様々な不便や不自由はあると思いますが、先生方や友達と協調して、たいへん穏やかな生活ぶりでした。教員たちも、遅れた授業を取り戻すことに焦ることなく、丁寧に、一人一人の児童に寄り添いながら学校生活を送ってまいりました。子どもたちも授業中は集中し、休み時間にはのびのび遊び、友達とも上手に関わって過ごしていました。

保護者の皆様には、常に子どもたちを支え、学校へのご理解とご支援をいただきありがとうございました。また、地域の皆様にも、町探検をはじめ、地域学校協議会等の他、様々な場面で学校を支えていただき誠にありがとうございました。

今年は2週間の短い夏休みですが、ここで英気を養い、お盆明けにはまた元気な子どもたちの笑顔に会いたいと思います。

【先生方とともに心がけてきたこと】

一さらなる高みを目指してー

- 1 落ち着いた一日は落ち着いた朝の読書から始まる。毎日のルーティーンを大切にしよう。
- 2 「新しい生活様式」を押し付けるのではなく、そうすることの意味を一緒に考えよう。
- 3 授業は教師の本分。どの子にも分かりやすい教え方を模索しよう。
- 4 子どもの心に寄り添うのも教師の本分。悩みや困難を受け止めていこう。



運動会と船頭まつりに関わる特別会議

先般、保護者の皆様及び地域の皆様にはお知らせしました通り、7月8日（水）に板戸町自治会・公民館・地域学校協議会・PTA・学校の代表が集まり、今年度の運動会と船頭まつりに関する特別会議を行い、例年通りの開催は中止となりました。ただし、学校ではそれぞれの行事の代わりとなる教育活動を、校内のみで安全面に配慮して展開してまいりたいと思います。保護者の皆様、地域の皆様には何卒状況をご理解の上、今後も本校教育活動にご協力を賜りますようお願い申し上げます。



清北歴史散歩(その1)南門

南門の南側の門柱の内側には「御大典記念」、北側の門柱には「大正四年拾壺（十一）月清原村大字板戸」と彫られています。



大正4年11月には、大正天皇の即位の礼がありました。また、大正4年は、本校が、宝泉寺の場所から現在の場所に移ってきた年でもありました。3階郷土資料室前の年表にそのことが書かれています。（HPに連載中。）



学校再開2か月 子どもたちの様子



【たのしいシャボン玉 1年生】

生活科で、シャボン玉遊びをしました。大きなシャボン玉を作るために息の吹き方を工夫したり、ストロー以外の道具を使ってみたりするなど、楽しく活動することができました。(深谷)



【初めてのパソコン 2年生】

初めてパソコン室で授業をしました。最初はドキドキしながら機器に触っていましたが、時間が経つにつれ、どんどん操作に慣れていきました。「次はいつかな？」と楽しみにしています。(中山)



【3年生 22名 全員集合】

7月から22名で学校生活を送っています。男女仲良く、遊びに、勉強に、運動に取り組んでいます。7月は、パソコン室での調べ学習や、ローマ字練習を頑張りました。(阿久津)



【新聞でお知らせします 4年生】

国語の授業で、新聞作りをしました。臨時休校中に集めた自分の家族との出来事を記事にして、新聞にまとめました。どの作品も家族への愛情溢れる素晴らしい新聞になりました。(川原田)



【世界を知り、驚く5年生】

総合的な学習の時間で世界の国について自分でテーマを決め、調べています。調べていると日本と違うことや同じことが出てきて「えっ？」という驚きの声が多くあがり、多様な文化に触れる良い機会となっています。(石田)



【朝から集中！6年生】

8時には朝の用意を済ませ、静かに読書を行います。その集中力を保ったまま、朝の学習を行っています。朝から集中している姿はとてまかつこいいです！(大坪)

【お願い】夏休み中でも、家族・同居者に感染者・濃厚接触者が出た場合は、速やかに学校に連絡してください。

なお、8月13日～16日は学校閉庁日となりますので、ご理解ご協力のほどお願いいたします。